



当法人第2期生共和病院で技能実習中のスラさんが愛知県多文化共生室主催のスピーチコンテストで奨励賞をいただきました。仕事に実習にそして日本語の勉強を頑張っているスラさん。今回は、スラさんがスピーチコンテストに出した原稿を紹介します。

代表 新美純子

私はインドネシアからきました。少し、インドネシアの紹介をします。インドネシアは1年を通じて、気温が34度くらいですが、島によって違います。島が多くて、島によって言語が違います。海がとてもきれいです。

今、私は共和病院でケアワーカーとして働いています。介護の勉強をしたくて日本にきました。初めて日本に来たとき、日本の生活にとても感動しました。なぜかというと、日本は高齢者の福祉と健康に非常に高い関心があるからです。日本人の寿命がインドネシアの人より長いのは当然のことだと思いました。また、自転車に乗ったり、買い物をしたりすることができます。だから、日本はインドネシアより健康な高齢者が多いと思いました。

私の仕事は高齢者のお世話をする仕事です。最初は自分の仕事にびっくりしましたが、今は日本で老後の生活について新しい発見がたくさんあるので、楽しい仕事になりました。日本の高齢者に提供されているさまざまな基本的な介護支援には驚きました。それは、私の仕事にとって新しい経験です。例えば、食事介助、入浴介助、服の着脱介助などがあります。また、リハビリのシステムも違います。日本では、自分で身体を動かしたり、歩いたりして、自立できるようにがんばっていますが、インドネシアではリハビリすることが少なく、病気になつたことで動かなくなったり、諦めたりするために、どんどん病気が悪化してしまったりします。

インドネシアでは、高齢者は少ないですが、ほとんどすべての高齢者がそれぞれの家族の世話をしています。ケアワーカーという仕事は無いです。なぜなら、日本の平均寿命は男性が80歳、女性は86歳ですが、インドネシアでは男性が63歳で、女性は67歳で随分と違います。その理由として考えられるのは一つに食事だと思います。例えば、日本の食べ物の味は薄いし、魚も肉

も野菜も食べますが、野菜を多く食べていると思います。また、生の魚も食べることに驚きました。それに比べて、インドネシアは魚も肉も野菜も常に油と一緒に調理します。そして、味も濃いです。また、日本の医療技術が発達しているから寿命が長いのかと思います。

また、インドネシアでは高齢者向けの保険制度は日本とは異なります。日本の保険制度は10~30%払えばよいのですが、インドネシアでは公務員以外は60~100%払わなければなりません。公務員はレベルによって違いますが、50%払う必要があります。だから、病院へ行きたいのに行けない人が多いです。また、年金制度も違います。日本は支払っている人は全員もらえます。しかし、インドネシアでは公務員はもらえますが、公務員以外はもらえない。しかし、家族みんなで一緒に住んでいるので、家族で助け合っています。障がい者自身の気持ちも違います。日本では施設があり、そこで自立できるように仕事をしたり、支援したりします。それに比べてインドネシアでは、障がい者自身の気持ちが弱く、すぐに諦めたり、誰かに頼ってしまったり、仕事ができる場所がありません。自分自身が障がい者であることを恥ずかしいと思っています。

これらのこと勉強して、私はインドネシアに帰ってから、自分の両親が高齢者になったときに日本で学んだ介護の方法で、彼ら自身が自立できるように支援していきたいと思います。そして、障がい者に対しても自立できるように、身体の一部がなくても恥ずかしいと思わないように支援していきたいと思います。また、高齢者や障がい者のリハビリができ、彼らが自信持って仕事ができるような場所ができる制度が欲しいと思います。私はインドネシアの高齢者の介護システムが将来良くなることを望んでいます。



スラちゃん N2の道 NO.7

「N2の試験も近くなってきたので、最近は聴解の練習をしています。

聴解問題は次々に進んでいくので、考える時間も短いため、ひたすら練習して耳が慣れることができが攻略のポイントになります。

最初は再生速度をゆっくりにして、言葉の一つ一つを理解する。また、問題が始まる前に選択肢を読んで理解する。その練習の繰り返しで徐々に再生速度を上げていきます。

スラさんはこの練習が気に入ったようで、ゲーム感覚で寝る前に行っているそうです。」

(日本語教師・ホルン奏者：加藤)

実習生の生活

高浜高校の生徒さんと交流会

10月29日に高浜高校で福祉課の生徒さんとの交流会を開催いたしました。当日は、高浜安立荘デイサービスセンターのヘカさん、ケアハウス高浜安立のイダさんも参加してくれました。写真は、高校生のみなさんに普段やっているレクリエーションやコグニサイズを紹介しているところです。日々の業務で行っていることなので、堂々と楽しそうに披露していました。



高校生のみなさんたちからも「日本語うまい～」と声をかけてもらっていました。後半のグループワークでは、一緒にグループの輪に入り、課題に取り組み、楽しい時間を過ごしていました。

この様子は、11月18日中日新聞17面にも取り上げていただいている。またケーブルテレビKATCHネットワークでも放送されました。ヘカさんからは、國のお母さんに新聞記事や動画を送って喜んでくれたという報告も聞きました。 代表 新美

今月のかんたんな日本語

「ボタンが外れます／ボタンを外します」

利用者様に上着の着脱を介助する際の声掛けの一例です。

「ボタンが外れますね。」とは言わず、「ボタンを外しますね。」と言いますね。

これは、日本語の動詞の性質が違うからです。動詞には、自動詞／他動詞がペアになるものがあり、その動詞の前の助詞も決まっています。

自動詞：ボタンが 外れる（話し手が、ボタンが留まっている状態から、外れた状態に変化したことだけ注目）

他動詞：ボタンを 外す（話し手が、自分と自分が関与してボタンが外れたという両方に注目）

これは、VOICE（ボイス）といい、話し手が何に注目しているかで、使う動詞と助詞を使い分けており、外国人にとって難しい日本語表現の一つです。 (日本語教師・看護師：澤田)

技能実習保険について

コロナウィルス感染拡大する中、続々と実習生が来日はじめました。当法人からの受入れに関して、入国当日から保険が適応される、技能実習保険へ加入をしていただいています。途中からの申し込みも可能です。当法人からの申し込みもできます。保険加入をお考えの事業様は、ご連絡いただけますと幸いです。 代表

『編集後記』

当法人第4期生、5期生が11月に来日しました。待ちに待った日本の生活を満喫！したいところですが、2週間は個室で待機。それでも彼らは「日本に来れてよかった」と。大切に育てていかないと改めて思っています。 新美

facebook



instagram



公益社団法人トレイディングケア

〒444-1336 愛知県高浜沢渡町3-3-6ハイムイノ1-B

TEL 0566-57-7700 FAX 0566-87-0552